

スペイン北部の山地にある「モンサルヴァート」というお城の王で、聖なる

杯と聖なる槍を守っていたアムフォルタスは、魔法つかいのクリングゾルに

槍を奪われたうえに、重い傷を負わされてしまいます。そこに「愚かだが、

純粋な若者」パルジファルが現れ、槍を取り返し、王の傷を癒やして、

聖金曜日*にアムフォルタスの後継者として王に選ばれます。

*キリスト教の祭日で、復活祭の前の金曜日

《パルジファル》の登場人物

アムフォルタス：聖なる杯を守るモンサルヴァート城の王。傷を負って苦しんでいる。

ティトウレル：アムフォルタスの父。先代の王。

グルネマンツ：モンサルヴァート城の老騎士。

パルジファル：愚かだが、純粋な若者。アムフォルタスの傷を癒やし、新しい王となる。

クリングゾル：魔法つかい。聖なる杯を守る騎士団に入団できなかった。

クンドリ：モンサルヴァート城の女使者。クリングゾルの手先になる。

クリングゾルの魔法の乙女たち：クリングゾルに仕える花の乙女たち。